

2024年3月期
(2023年4月1日~2024年3月31日)

決算参考資料

2024年5月13日



東証プライム・名証プレミア上場 証券コード：9900

1. 連結対象企業の事業内容	-3-
2. 店舗展開の状況	-5-
3. 2024年3月期 業績概況	-7-
4. 財政・キャッシュフローの概況	-8-
5. 売上高・営業利益の状況	-9-
6. 2024年3月期のトピックス	-10-
7. 2025年3月期について	-17-

連結対象企業の事業内容



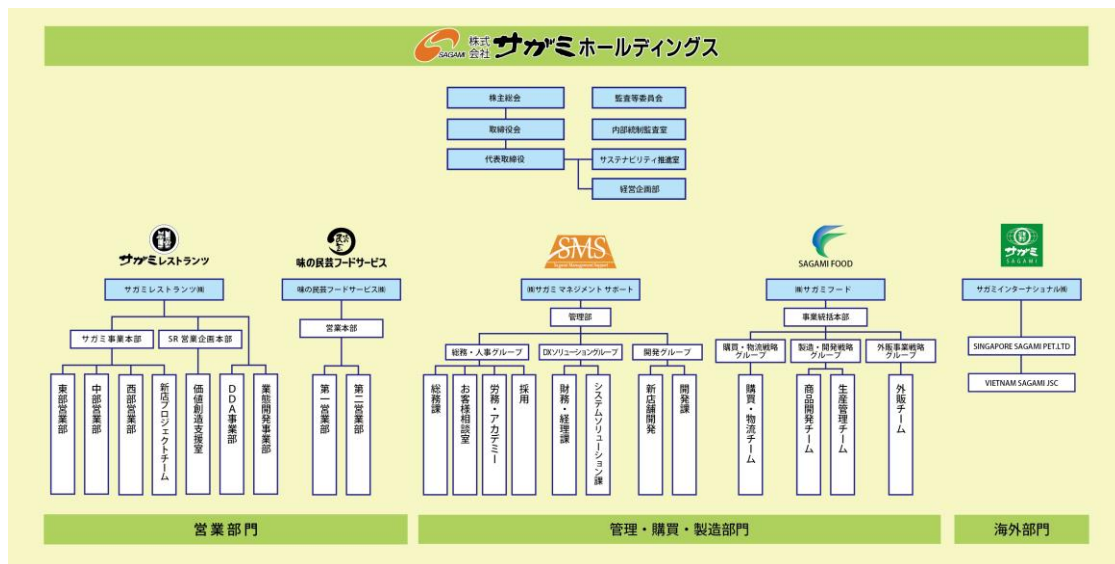
連結対象子会社一覧

名称	所在地	資本金又は 出資金	当社の 出資比率	事業の内容
サガミレストランツ株式会社	名古屋市	50,000,000円	100%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
味の民芸フードサービス株式会社	立川市	50,000,000円	100%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社サガミマネジメントサポート	名古屋市	10,000,000円	100%	グループの管理業務 店舗設備のメンテナンス業務
株式会社サガミフード	名古屋市	10,000,000円	100%	食材の仕入・製造業務 輸出入業務
サガミインターナショナル株式会社	名古屋市	10,000,000円	100%	海外事業の統轄
SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.	Singapore	5,250,000米ドル	100%	海外事業（ASEAN）の統轄
VIETNAM SAGAMI JSC	Vietnam	6,490,600,000ドン	100%	ベトナム国内における飲食店の経営

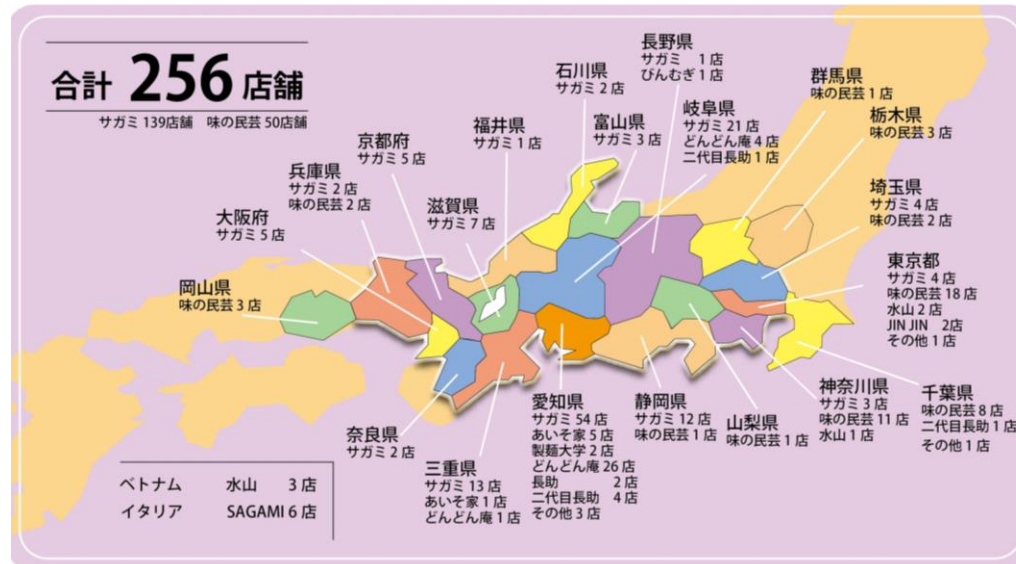
連結対象企業の事業内容



サガミグループ組織図



地域別店舗分布



- ◆ サガミレストランズ株式会社は、主に和食麺処サガミ業態、どんどん庵業態、長助業態、二代目長助業態を経営しております。
- ◆ 味の民芸フードサービス株式会社は、主に味の民芸業態を経営しております。
- ◆ 株式会社サガミマネジメントサポートは、主に管理業務を行っております。
- ◆ 株式会社サガミフードは、主に食材の仕入・製造を行っております。
- ◆ サガミインターナショナル株式会社は、主に海外事業展開の統轄を行っております。
- ◆ SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.は、ASEAN地域での事業（ベトナム）の統轄を行っております。

店舗展開の状況



	2023年 3月期	2024年3月期			2025年3月期（計画）		
	店舗数	出店	閉店	店舗数	出店	閉店	店舗数
和食麺処サガミ	133	8	2	139	9	-	148
味の民芸（FC店舗含む）	51	-	1	50	1	-	51
どんどん庵（FC店舗含む）	32	-	1	31	3	-	34
長助・二代目長助	6	2	-	8	4	-	12
その他国内店舗（FC店舗含む）	19	3	3	19	-	8	11
海外 ベトナム	3	-	-	3	-	-	3
海外 イタリア（FC店舗）	6	1	1	6	1	-	7
合計	250	14	8	256	18	8	266

- ◆ 2024年3月期末計画店舗数は257。国内店舗は目標達成。海外店舗で計画外の閉店が1店舗あり未達となった。
- ◆ 業態毎の店舗展開の詳細は次頁に記載しております。

店舗展開の状況

国内店舗展開

- ◆ 和食麺処サガミ業態
2023年5月に「川名店」、7月に「安城桜井店」、9月に「東郷店」、10月に「常滑店」「津島埋田店」、12月に「岐阜本巣店」、2024年2月に「亀岡千代川店」、3月に「飯田インター店」を開店いたしました。2023年7月に「越谷南店」、11月に「清水店」を閉店いたしました。これにより、当期末の店舗数は139店舗となりました。
- ◆ 味の民芸業態
2023年6月に「東大和店」を閉店いたしました。これにより、当期末の店舗数はFC店舗を含め50店舗となりました。
- ◆ その他業態
2023年10月に「水山 新宿紀伊國屋店」「JINJIN 新宿紀伊國屋店」、12月に「かき揚げ十割そば長助 名駅西店」、2024年1月に「和麺サガミ レストピアふじた店」、「十割そば二代目長助 豊田若林店」を開店いたしました。2023年8月に「Dela Pasta Kitchen 土岐店」を閉店いたしました。業態変更に伴い、2023年8月に「あいそ家 東郷店」、10月に「あいそ家 津島店」「どんどん庵 名駅西店」を閉店いたしました。

海外店舗展開

- ◆ イタリア
2023年8月「SAGAMI Verona店」をFC店舗として開店いたしました。2024年1月「SAGAMI Bologna店」を閉店いたしました。

以上により、2024年3月末のグループ店舗数は、国内247店舗、海外9店舗の計256店舗であります。



2024年3月期 業績概況



連結ベースの経営成績

(単位：百万円/円)

	2023年3月期	業績予想 (2024.11.6発表)	2024年3月期	前期差異	計画差異
売上高	26,423	28,000	31,006	4,583	3,006
営業利益	910	1,250	1,656	746	406
経常利益	※ 1,574	1,300	1,722	148	422
親会社株主に帰属する 当期純利益	※ 866	900	909	43	9
一株あたり 当期純利益	29.38	29.84	30.14	0.76	0.3

※ 2023年3月期は営業時間短縮に伴う協力金等収入566百万円を含んでおります。

- ◆ **売上高30,000百万円を超えたのは、2002年度以来21年ぶり。**
- ◆ **売上高31,006百万円は過去2番目の売上水準。**

財政・キャッシュフローの概況

連結財政状態

単位 (百万円/%)	2023年3月期	2024年3月期
総資産	24,156	24,943
純資産	15,936	16,815
自己資本比率	65.9	67.4

連結キャッシュフローの状況

単位 (百万円)	2023年3月期	2024年3月期
営業活動によるキャッシュフロー	1,725	2,458
投資活動によるキャッシュフロー	△1,408	△3,828
財務活動によるキャッシュフロー	△1,172	△1,347

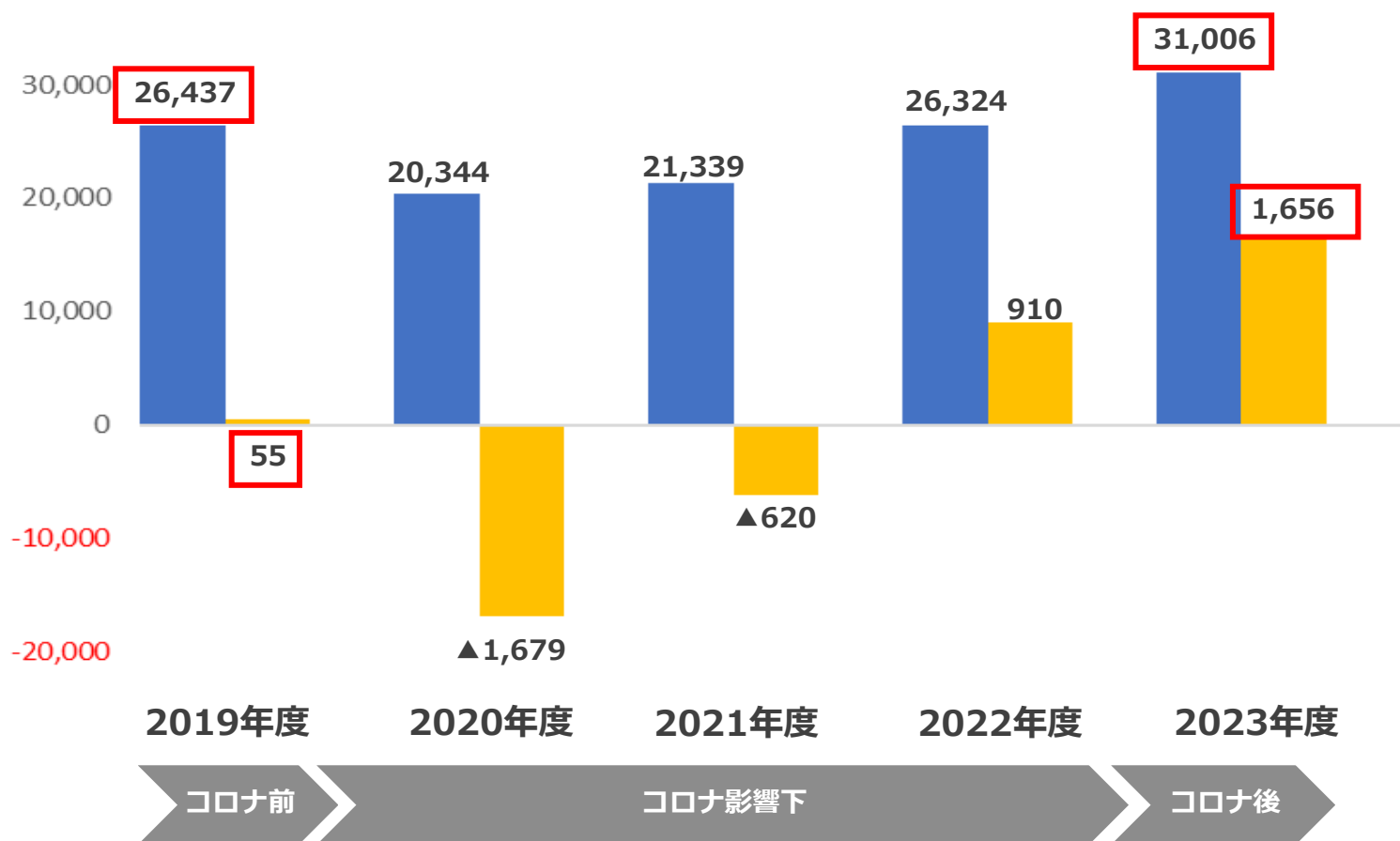
- ◆ 設備投資について
連結設備投資は1,876百万円（2023年3月期実績1,353百万円）となりました。
- ◆ 減価償却費について
減価償却費は529百万円（2023年3月期実績385百万円）となりました。

売上高・営業利益の状況

売上高・営業利益の推移（コロナ禍前～コロナ後）

売上高（単位：百万円）

40,000 ■ 売上高 ■ 営業利益



営業利益（単位：百万円）

4,000

3,000

2,000

1,000

0

-1,000

-2,000

対2019年度比
(コロナ以前)

売上高

117.2%

(+4,569百万円)

営業利益

3,010%

(+1,601百万円)

2019年度

2020年度

2021年度

2022年度

2023年度

コロナ前

コロナ影響下

コロナ後

2024年3月期のトピックス①

サガミホールディングス

◆ 健康経営の推進

当社は、人財が最大の経営資源であるという考えのもと、「物心両面のゆたかさ」により、従業員の「生きがい」と「やりがい」を両立し、お客様への提供価値向上を目指しております。多様な人材の確保及び従業員の生活水準の向上を目的とした従業員還元の一環として、様々な施策を行っております。

- ・グループ全店一斉休業日の設定（一部、商業施設内店舗を除く）
- ・4日以上連続休暇（リフレッシュ休暇）を年に3回以上取得可能とする制度拡充
- ・基本給のベースアップ
- ・業績貢献に対する特別賞与の支給
※2025年3月期上期賞与は3.4ヵ月を支給予定（半期としては過去最高）
- ・各種手当の増額を含む給与制度の見直し

◆ 株主還元

前年度2023年3月期決算においては、新体制への移行、経営陣の若返りによって、今後、更なる企業価値の向上及び当社グループの持続的な発展への決意を示すとともに、日頃のご支援に対し感謝の意を表するため、1株あたり5円の普通配当に加え、2円の特別配当を実施いたしました。

2024年3月期決算においては、経営状況及び内部留保の状況を考慮し、1株あたりの普通配当を8円に増配いたします。更に2円の特別配当を実施し、1株あたりの期末配当を10円とさせていただきます。

なお、本件に関しましては、2024年6月下旬開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

2024年3月期のトピックス②

サガミホールディングス

◆ サステナビリティ活動

TCFDに準拠した情報開示

持続的な企業価値向上を実現していく上で、気候変動に対するリスクを重要な経営課題と捉え、有価証券報告書にて、TCFD提言に準拠した定量情報を開示いたしました。

CDP気候変動質問書への回答実施

企業の気候変動に対する取り組みとその結果について、積極的に情報開示を行う目的で、CDP気候変動質問書への回答を実施いたしました。（評価B- ※外食企業平均：C-）

Sチャレンジの取り組み

当社は、SDGs17の目標達成に向けた取り組みを積極的に推進しております。2021年度より、SDGsとSAGAMIグループの頭文字“S”を引用して「Sチャレンジ」と銘打ち、「WFPLレッドカップキャンペーンへの参加」や「産学連携のメニュー開発」、「低糖質や減塩といった健康促進メニューの導入」「子ども食堂への参加」といった活動を通じて、企業として「より良き社会を次世代に」つないでいく取り組みを行っております。

◆ 統合報告書の発行

当社グループの企業活動の全体像、企業価値創造に向けた戦略や目標を総合的に紹介し、理解をより一層深めていただくことを目的として、2023年9月に、サガミグループとして初めての統合報告書を発行いたしました。ステークホルダーの皆様への情報発信媒体として活用するため、今後も毎年発行する予定としております。



2024年3月期のトピックス③

サガミレストランツ（サガミ事業本部）

サガミ業態について

※店舗の出退店については、P.6店舗展開の状況に記載しております。

◆ モーニング営業実施店舗の拡大

愛知県、岐阜県においては新規出店店舗を除き全店、三重県、静岡県、滋賀県、京都府、兵庫県においては、一部店舗でモーニング営業を行っております。

2024年3月末時点で、合計90店舗（あいそ家含む）にて営業しております。

◆ 全店販促企画の開催

期間中、「名古屋コーチン料理フェア」「真あなご料理フェア」「牛タン料理フェア」「北海道味めぐりフェア」「牡蠣料理フェア」「寒ぶりフェア」「北のめぐみフェア」の計7回の料理フェアを開催いたしました。

多くのお客様にご好評いただいている季節に合わせた料理フェアを今後も定期的で開催し、サガミのおいしさを皆様へ届けてまいります。

◆ IT化・DX促進による省人化に向けた取り組み

3月にオープンし、和食麺処サガミ業態として長野県初出店となった、「和食麺処サガミ 飯田インター店」において、配膳ロボットやセルフレジに加え、業態で初めてタブレット型セルフオーダーシステムを導入いたしました。今後は複数店舗への導入に向け検証を重ねてまいります。



2024年3月期のトピックス④

サガミレストランツ（サガミ事業本部）

◆ 新規マーケティングの取り組み

一升米の取り組みを全店へ拡大

「お食い初め（百日祝い）」に続いて、「一升米（一歳お祝いセット）」の販売を全店に展開いたしました。

お子様の成長の節目をサガミでお祝いしていただけることに感謝するとともに、お客様と従業員が一緒になってお祝いすることで、笑顔あふれる空間づくりを心掛けております。サガミへ行くことで、お客様にとっても、働く仲間にとっても、“ちょっといい日”が“もっといい日”になるよう、おもてなし強化に努めてまいります。

また、「父の日」「母の日」「敬老の日」などの歳時に合わせた料理企画を実施するとともに、還暦・古稀・喜寿のような長寿のお祝いや、人生の節目となるイベントでの会食の機会に、和食麺処サガミでのお食事とおもてなしを楽しんでいただける食事プランをご提案しております。ご家族揃ってのご来店を心よりお待ちしております。

ドアラ柄のそば殻まくらを限定販売開始

愛知県が本拠地のプロ野球球団 中日ドラゴンズのマスコット「ドアラ」とコラボレーションし、ドアラ柄のそば殻枕を限定1994個、販売開始いたしました。



2024年3月期のトピックス⑤

サガミレストランツ（業態開発事業本部）

長助業態について

※店舗の出退店については、P.6店舗展開の状況に記載しております。

- ◆ 新メニューとして、旨とろ角煮を使用したメニューの販売を開始いたしました。各店舗で丹精込めて煮込んだ豚角煮は、十割そばとの相性抜群で、販売開始以来多くのお客様にご好評をいただいております。
- ◆ セルフサービス形態の業態でありながら、ビタミン類やルチンといった栄養素を豊富に含む“そば湯”を、お客様のお好みでお楽しみいただけるようご用意しております。

どんどん庵業態について

- ◆ どんどん庵誕生45周年を記念し、長年のご愛顧に感謝の気持ちを込めて、「GO! どんどん庵キャンペーン」を実施いたしました。むかし通ってくれた子供が大人となり、また自分の子供を連れて来てくれるような、親子3世代に愛されるソウルフード業態を目指して営業を続けてまいります。

その他業態について

- ◆ 「和麺サガミ レストピアふじた店」（1月）を、愛知県豊明市にある藤田医科大学病院内に、出店いたしました。食を通じてお客様の健康維持に貢献できるよう、美味しさと健康を両立させたメニューの開発・導入を進めてまいります。



2024年3月期のトピックス⑥

味の民芸フードサービス

味の民芸業態について

※店舗の出退店については、P.6店舗展開の状況に記載しております。

- ◆ お客様感謝企画として2023年6月、及び7月に計6日間、「手延べうどん 食べ放題企画」を実施いたしました。また、2023年12月には昨年もご好評いただきました「福袋」の販売、2024年2月には冬の人気メニューもつ鍋うどんを訴求した、「もつ鍋総選挙企画」の開催、2024年3月には「春の感謝祭企画」を開催いたしました。
- ◆ 認知度向上を目的に、4月に岡山地区・千葉地区で、3月に関東地区において、手延べうどんの美味しさの訴求及び季節のおすすめメニュー等を告知する、初のテレビCMを放映いたしました。
- ◆ 味の民芸では従来の携帯会員から、利用者層が広く利便性の高い『LINE』での販促活動に切り替え、『LINE公式アカウント』を全店で開設いたしました。定期的にフェアメニューの告知やお得なクーポンを配信し、2024年3月現在で全店のお友達数は22万人を超えました。今後も会員様とのエンゲージメント向上に向けて取り組んでまいります。
- ◆ 店舗業績につきましては、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」へ移行した事により人流が回復し、売上が好調に推移いたしました。これにより、味の民芸業態40店舗、小型業態4店舗で月間売上高が過去最高となりました。

小型業態について

- ◆ 2023年10月に、耐震工事により一時退店していた紀伊國屋書店新宿本店の地下1階に「手延べうどん 水山」と「生パスタ専門店 JINJIN」に再出店いたしました。



2024年3月期のトピックス⑦

■ サガミインターナショナル

ベトナム事業について

- ◆ ベトナムでは「水山」業態を展開し、7月にベトナム進出7周年をむかえました。現在3店舗を営業し、現地の中間所得層を中心に多くのお客様にご来店いただいております。
- ◆ コロナ禍以降の経済回復も著しく、各店舗ともにコロナ禍以前の売上高を上回る推移となっております。

イタリア事業について

- ◆ 2023年8月、ヴェネト州・ベローナ市の中心部に「SAGAMI Verona店」をFC店舗として出店いたしました。地域の方々から観光のお客様まで、幅広いお客様にご来店いただいております。
- ◆ 既存店の売上高については好調を維持し、コロナ禍以前を上回る趨勢となっており、既存6店舗全店で現地通貨ベースでの月間最高売上を更新いたしました。
- ◆ 現地スタッフの意見を積極的に取り入れ、スタッフ考案のレシピをメニュー化するなど、既存の枠にとらわれない施策で、お客様のご好評を得ております。引き続き、和食文化をイタリアのお客様へ届けられるよう、取り組みを継続してまいります。
- ◆ イタリアへ出店する店舗については全店、現地パートナー企業による、フランチャイズでの展開となっており、今後も北イタリア地域を中心に出店を検討してまいります。



2025年3月期について

連結ベースの業績予想

単位（百万円）	2024年3月期	2025年3月期（予想）	差額
売上高	31,006	32,000	994
営業利益	1,656	1,750	94
経常利益	1,722	1,800	78
親会社株主に帰属する 当期純利益	909	1,000	91

2025年3月期について

- ◆ 売上高
2024年3月期においては、各種催事の復活や外出機会の増加による国内消費の伸長などから、人流は大きく増加いたしました。これを受け、2025年3月期の客数は前年同等を見込んでおります。
なお、新規出店や商品政策によるプラス効果を考慮し、2025年3月期の売上高について、前期比増収を見込んでおります。
- ◆ 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益
食材の仕入れ価格や人件費、水光熱費、物流費などのコスト増により厳しい経営環境が続くことが予測されますが、粗利益率の改善及び生産性の向上により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について、前期比増益を見込んでおります。

ディスクロージャーポリシー（Disclosure Policy）



（1）基本方針

サガミグループは、『私たちは、「食」と「職」の楽しさを創造し、地域社会に貢献します～すべては みんなのゆたかさと笑顔のために～』という経営理念のもと、すべてのステークホルダーに対し、透明性、公平性、継続性を基本に証券取引法及び上場取引所の定める法令・規則を遵守し、タイムリーな情報提供に努めます。

（2）情報開示の方法

東京証券取引所が定める適時開示規則に該当する情報の開示は、同取引所へ事前説明後、同取引所の提供する適時開示情報伝達システム（TDnet：Timely Disclosure network）に登録し提供しています。

TDnet 公開後、すみやかに報道機関に同一情報を提供するとともに、当社ホームページへも掲載いたします。

ただしシステムの都合上、これら情報の当社ホームページへの掲載が遅れる場合がございます。

また、適時開示規則に該当しないその他の情報につきましても、適時開示の趣旨を踏まえて適切な方法により正確かつ公平に開示する方針です。

（3）業績予想および将来の見通しについて

サガミグループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の実態に関する以外は、将来の業績に関する計画や見通しであり、これらは現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。

したがって、将来の業績等につきましては、様々なリスクや不確定要素の変動および経済情勢の変化などにより異なる場合があります。

（4）沈黙期間について

サガミグループは決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算発表日の一カ月間を「沈黙期間」としております。

この期間は、決算に関する質問への回答やコメントを控えることとしております。ただし、この沈黙期間中に業績予想を大きく変動する見込みが発生した場合には、開示規則に従い適宜公表いたします。

なお、沈黙期間であっても、すでに公表されている情報に関する範囲のご質問等につきましては対応いたします。

（5）ディスクロージャーポリシーの遵守

サガミグループは、「企業の社会的責任（CSR）」の観点からもグループの役職員全員に上記のディスクロージャーポリシーを周知徹底し遵守いたします。